

【お願い】 卒業式について

明日から3月、卒業まで残すところあと13回の登校。
学年最後の思い出を作ろうと鬼ごっこしたり、仲間との絆を楽しい学級で深めたりと、元気な子ども達の声が響いています。
また、6年生は思い出の校庭や校舎との別れを惜しむかのように、活動に取り組んでいます。
朝の清掃活動をはじめいろいろな場面で「6年生の後ろ姿」を後輩達に見せてくれている様子は、真剣で優しく、頼もしく感じます。

本当に「どの学校にも負けない」「自慢の」6年生の皆さんです。

さて、本日はお願いがございます。

卒業式の当日、「花束 や お菓子の首飾り」といったプレゼントの自粛をお願いします。

卒業式終了後、体育館の外での「花道」で色とりどりの花束やお菓子で作った首飾りや帽子のプレゼント等で、にぎわう光景が見られます。家族やいとこ、親類と笑顔がたくさんみられる反面、見ているのも辛い場面があることも事実です。

花束やプレゼントをもらっている子の後ろを何ももらえず、うつむいて花道を歩く子もいます。

中には、「そんな花道」が耐えられず、花道の途中で、列を抜ける子もいます。

昨年度は、賑わう校門前の人だかりを そっと端っこに抜ける子が7名、

そのうち2名は、ラーメン屋八茶坊の方向へ走って行く姿もありました。

寂しさから逃げるように。

その様子を目の当たりにしたときに、その子の心境や思いを察すると、
晴れの日が「辛い日」になった、させてしまったという罪悪感でいっぱいになります。

学校は、一人ひとりが大事にされる場でなくてはなりません。

誰一人として、「卒業式がつらい日に」させてはいけないと考えます。

卒業なさるお子さんへの祝福は、盛大になさってください。

ただ、お願いといたしましては、

「当日、校内や正門周辺でのプレゼントは、無しに」 だけです。

厳しい言い方になったかもしれませんが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

嘉手納小学校 教頭 玉城和機

長文 失礼しました。

ほとんどの学校が、プレゼントの禁止や自粛要請している中でも、上記のような光景が見られます。

嘉手納小から「卒業式」を見直すことで、嘉手納町や沖縄県全体に発信ができ、
全員が晴れ晴れとした、すてきな卒業式ができると思います。

きっと

(同文を2月28日じんじんメールでも配信します)